

晴海地区に整備する五輪り、東京都は新たな交通網の選手村は、大会後に約6の整備を急ぐ。

千戸のマンション街になまず2019年度をめどる。約18万平方メートルの敷地に都心と臨海部を結ぶバス中心部に2棟の超高層マン高速輸送システムを開通さ

都、交通網整備急ぐ

ションなどをつくり、人口せる。運行事業者には京成の大幅増が見込まれる。しバスを選んだ。有明や勝どかし、臨海部は都心に近いき、銀座や虎ノ門など11カ所にもかかわらず交通インフラが脆弱と指摘されておユ時には1時間に最大約4

人口大幅増見込む

バスで大型輸送も

400人を運ぶ。臨海部では高層マンションの敷地内に乗り入れる案もある。

輸送力の高い地下鉄の新線も構想する。首都圏の鉄道網の将来像として夏にまとめた「広域交通ネットワーク計画」に臨海部と都心を結ぶ路線を盛り込み、15年度中に国の交通政策審議会(国土交通相の諮問機関)がまとめる次期答申へ盛り込むよう求めている。